

第 24 回世界建築会議・UIA2011 東京大会

UIA2011 東京チェアシティ展

震災復興支援

記憶のベンチ・記憶のチェアから森林再生に向けて

感謝



武田双雲

APPRECIATION

UIA2011 東京チェアシティ展実行委員会
森林再生事業促進実行委員会



第24回世界建築会議 UIA2011 東京大会 「UIA2011 東京チェアシティ展」9月23日(金)―10月2日(日)

会場：丸の内オアゾ 1F ○○広場、丸ビル 1F、丸の内カフェ ease、TOKIA ガレリア、他

【プログラム】(丸の内オアゾ 1F ○○広場)

9月23日 PM2:00 ~ PM3:30

オープニングセレモニー

川崎景太 花のメッセージ

9月24日~30日

建築家による夜学講座 (震災復興支援・建築デザイン)

森林再生トークセッション

10月1日 PM1:00 ~ PM5:00

第4回「間伐材」を生かした

「森づくり・モノづくり」特別コンテスト表彰式

10月2日 PM1:00 ~ PM3:00

「世界感謝の日」

小田原 健と「森林再生」トークショー

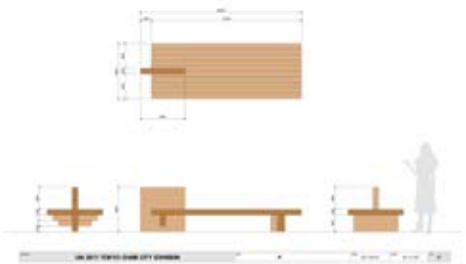


震災復興支援

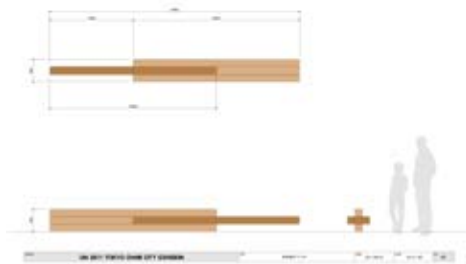
記憶のベンチ・記憶のチェア（丸の内オアゾ1 F○○広場展示案内）

大会会場の周辺、丸の内地区に人々が憩い集うための場を創出するため、様々なデザインされた椅子やベンチを展示します。あわせて大震災から半年後の復興の様子を伝える各被災地からの「記憶のチェア・記憶のベンチ」を展示します。

「森づくり・モノづくり」コンテスト受賞展示作品



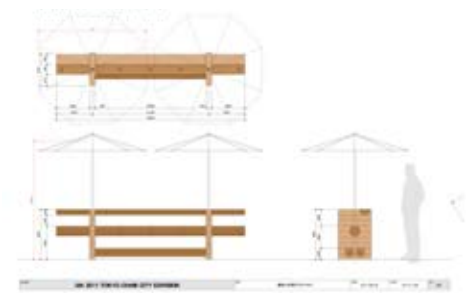
◆東 俊一郎 「縞（しま）」



◆岩橋 翼 「引き出すベンチ」

パラパラ漫画

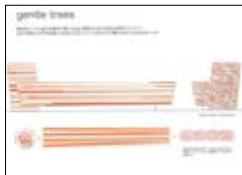
パラパラ漫画は、データとは異なる“震災前の記憶”として地域の歴史や伝統を記録する装置です。内容は、震災を経験した各地方の、以前の土着的な伝統行事である街並、自然、祭り等です。鑑賞者は、パラパラ漫画を手に取り、パラパラとめくり、美しい情景を鑑賞することで記憶を感じ、各々が新しい未来を造るきっかけづくりを感じるようになります。



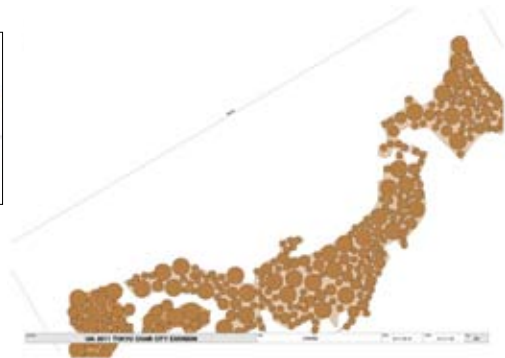
◆国澤信二 「表裏の長椅子」



三菱一号館美術館に展示



◆辻本崇樹 「gentle trees」



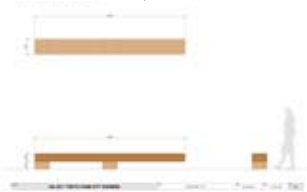
◆福本 遼 「A-round Wood Bench」



FSC 認証の森 若柳・嵐山から NPO 法人「緑のダム北相模」の会員によりコンペ制作展示のため伐採・搬出された杉材

その他の展示

みんなの杉ベンチ（吉野材コンペ主催／奈良県）



記憶のベンチ・記憶のチェア



navy chair (emeco + コカ・コーラ)



小田原 健デザイン
マルダイ E 型ラブチェアー

第4回「間伐材」を生かした

「森づくり・モノづくり」コンテスト審査委員

小田原健（家具デザイナー）：審査委員長

古谷誠章（建築家）

丸茂 喬（ランドスケープデザイン編集長）

石村黄仁（NPO 法人「緑のダム北相模」代表理事）

吉永晃也（ハンスクラフト作家）

井上三郎（相模原市相模湖経済観光課長）

井上重夫（相模湖商工会事務局長）

イベントカレンダー

	9/23(金)	9/24(土)	9/25(日)	9/26(月)	9/27(火)	9/28(水)	9/29(木)	9/30(金)	10/1(土)	10/2(日)
8:00	若手建築家による震災復興ビジョン・建築デザイン (映像)		速水林業の森とFSCの家具(オリバー) (展示)			鹿沼杉の活動 (映像)		職人の森ブランド 針葉樹の家具 (展示)	緑のダム北相模の活動 森の積木プロジェクト ほか	
10:00										
11:00										
12:00										
13:00		次世代の都市住宅 / 伊佐 裕	エコ住宅 / 丹野正則 ほか LEDの光とは / 小林由幸 (DAIKO)		震災復興支援 仮設住宅プロジェクト / 内藤康男 花の種プロジェクト / 松田清江 MGCの提案 / 保 清人	FSCの森と木材資源 / 速水 亨 + オリバー + 小田原 健	長期優良住宅モデル 建材 / 深沢裕一郎 + 小田原 健 EU建材 / 青木敏機	間伐材有効利用 / ウッドワーク + 森世紀 工房 + 神奈川建具組合 + 上田フォレストライフの活動	「森づくり・モノづくり」 特別コンテスト表彰式	世界感謝の日 / 武田双雲 小田原 健と「森林再生」トークショー
14:00	フラワーアート 花のメッセージ / 川崎景太 インテリアコーディネーターチームとの連携			風倒木の森が甦る日 田市 / 日田市長 + 小田原 健 + 黒川哲郎						
15:00										
16:00					吉村靖孝					
17:00										
18:00				黒川哲郎		中村拓志	マウントフジ 原田真宏 + 麻魚	古市徹雄	懇親会(別会場)	
19:00					平田晃久					
20:00	建築家による夜学講座(震災復興支援・森林再生 ほか)					谷尻 誠		芦澤竜一		

9月23日 PM2:00 ~ PM3:30
川崎景太 花のメッセージ



川崎景太
マミフラワーデザインスクール主宰
マミフラワーデザイン主宰
フラワーアーティスト



東京に生まれる。1982年アメリカ、カリフォルニア・カレッジ・オブ・アートアンド・クラフトを卒業。以後、数々のデモンストレーションや展示会、TV、雑誌でのプレゼンテーションを手掛ける、現代フラワーデザイン界リーダーのひとり。大胆な発想の空間インスタレーションや音楽プロデュースも定評があり、花に限らず幅広く活躍中。
ディスプレイ、デザイン関連でも数々の賞を受賞。

<http://www.keitakawasaki.net>

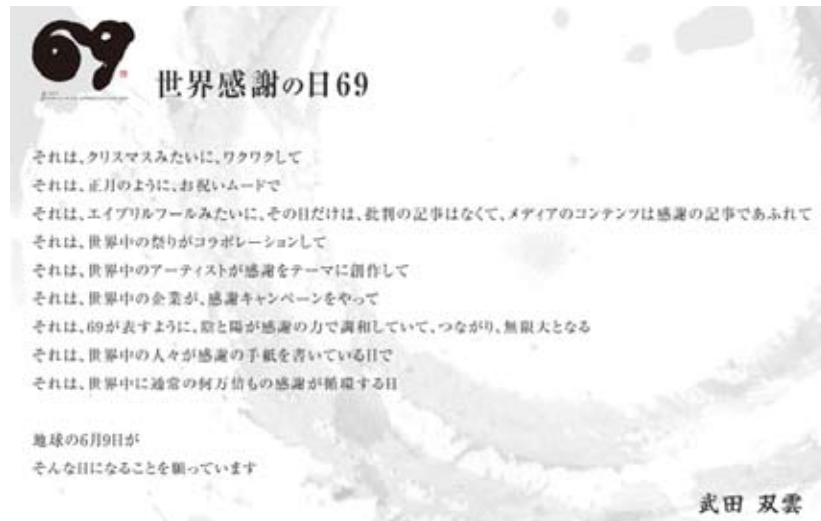
◇著書／監修◇

「花のメッセージ」(グラフィック社)、「花のすみか」(誠文堂新光社)、「花くぼり〜新しい花のとめ方」(文化出版局)、「花・異次元」(講談社)、「しあわせの花束」(文化出版局)「百の花くぼり」(アシェット婦人画報社)
「暮らしの花 マミの四季」春夏編・秋冬編(アシェット婦人画報社) その他監修多数

10月2日 PM1:00 ~ PM3:00

武田双雲 「世界感謝の日」

WORLD-WIDE APPRECIATION DAY



69

世界感謝の日69

それは、クリスマスみたいに、ワタワタして
それは、正月のように、お祝いムードで
それは、エイプリルフールみたいに、その日だけは、世評の記事はなく、メディアのコンテンツは感謝の記事であふれて
それは、世界中の怒りがコラボレーションして
それは、世界中のアーティストが感謝をテーマに創作して
それは、世界中の企業が、感謝キャンペーンをやって
それは、69が表すように、怒と愛が感謝の力で調和していて、つながり、無限大となる
それは、世界中の人々が感謝の手紙を書いている日
それは、世界中に送るの何万倍もの感謝が循環する日

地球の6月9日が
そんな日になることを願っています

武田 双雲



武田双雲

書道家
昭和50年熊本市生まれ。3歳から母である書家：武田双葉(そうよう)に書を叩き込まれる。
東京理科大学理工学部卒、NTTに約3年務めた後、2001年1月より書道家として湘南で創作活動をはじめ。
パフォーマンス書道や個展、ロゴを数多く手がける。著書多数
代表作に「人生」「戦」「種」「波」などがある。

いたわりベンチがある街の風景を

日本の街には座るベンチや椅子がない。欧米の先進国には、街にベンチや椅子のある風景が当たり前に見られる。そしてどこも風景と調和した椅子が美しい。その様な街の風景は成熟した都市のシンボルである。椅子のある都市の風景をこの「東京フェアシティ展」で再考してみよう。



小田原 健の自宅プランターと壁を利用したバス停杉材ベンチ。高齢化時代に喜ばれている

小田原 健 「風倒木を救え」から始まった 森林再生ものがたり



小田原 健
家具デザイナー

1950年(15歳)小田原少年東京芝の昭和の名人左甚五郎といわれた三輪磯松の元を訪ね弟子入り。「草鞋脱ぐ所良ければ全てよし」という大先生との出会いから弟子入り人生がはじまる。

1954年(19歳)東急電鉄、東横デパートなどの設計部

問の宮内順次の元で設計助手を務め、五島邸、五島美術館、銀座東急ホテル迎賓室その他多数手掛ける。

1958年(23歳)東急五島昇の指示で藤田観光ホテル小涌建設プロジェクトを担当。吉村順三先生の元で設計協力する。その後多くの住宅物件の設計をする吉村哲学を実務で学ぶ。

1968年(33歳)吉村順三教授より東京芸術大学建築科の講師の辞命を受ける。22

年間家具デザイン担当を務め330人の生徒を指導。

1975年(40歳)ヤマハ家具事業部のショップ指導、全国のショールームを設計。商品企画、人材研修などのコンサルティングシステムを確立。

1976年(41歳)芸大奥村教授の木曾三岳村アトリエで村起こしの木工所設立。木工基本技術の指導 針葉樹材の家具開発を約10年手掛ける。

1983年(48歳)浜松ヤマハの関連で小池一三に奥村昭雄を紹介。OMソーラー設立し、太陽エネルギーを取り入れた住宅の普及を計る。

1993年(58歳)大分県日田地域を襲った巨大台風による風倒木救済運動として有効利用をはかり、94年「風倒木展」を東京青山スパイラルホールにて6日間実施し、1万人の来場者を集める。その成果が上津江村トライブッドに発展していく。

1994年(59歳)OMソーラー小池氏により風倒木の杉フローリングの普及を依頼す

る。年間約5億円の買い上げで有効利用が計られた。

1994年東京芸大の黒川哲郎教授の協力の元、風倒木を利用した建築作品を30件建設する。

1994年風倒木の実績により、スウェーデン大使館の要請で自国の松の木材資源の有効利用の企画依頼を受け現地視察を行う。

1994年OMソーラー小池氏の依頼でスウェーデン松材のオリジナル家具の開発要請を受ける。デンマークオルボ市のパンコレクト社により小田原デザインが量産化される。

1995年(60歳)上越(協)ウッドワーク地域産根曲杉の有効利用のためのプロジェクトを立ち上げ、組合18社の指導をする初仕事として市営温泉セン



風倒木展ポスター

ターの家具内装工事を受注。

1996年(61歳)ウッドワーク作品が農林大臣賞最優秀デザイン賞を受ける。話題の組合としてNHKクローズアップ現代で紹介される。

1998年(63歳)ガデリユース社の招待でスウェーデン式住宅研修会にアーキビジョン21担当者同行し、高気密、高断熱住宅の指導を受ける。

1999年(64歳)北海道岩内にスウェーデン型建築高島旅館を新築する。アーキビジョン21によるエコ・省エネのモデル工事。

2000年(65歳)協フォレスト西川 埼玉県産杉材有効利用プロジェクトを立ち上げる。キッチンシステム収納家具の開発・指導を大河原章吉他に行う。



協ウッドワーク小田原と猪俣

2001年(66歳)神奈川県産材の有効利用プロジェクト立ち上げ、池谷理事長、青年部メンバーのデザイン技術 販売指導を行う。

2002年(67歳)WWFジャパンFSC森林普及プロジェクトに協力。山笑会設立。小田原、速水他林業、製紙業参加する。

2003年(68歳)ニュージーランド松材のFSC家具の開発プロジェクトを推進。ウッドワークの職人と小田原 健が現地に出向き指導。(株)アスブルンド「粋」シリーズ商品化、エープラム社による橘学苑の机を開発。

2003年長野県カラマツ材有効利用のため田中知事、CWニコル、黒柳徹子、小田原健、コシノジュンコ、WWF会長等により森世紀プロジェクト



ウッドワーク作品

を設立する。

2004年(69歳)新世紀工房設立。ガラス張りの知事室完成。47社のマイスター認定。代表親方に任命現在に至る。

2004年栃木県鹿沼杉の有効利用と木工産業活性化プロジェクトで経営NPO 萩田商工会議所、鹿沼木工職人を支援。

2004年浜松国際花博覧会にアーキビジョン21モデル住宅出展、速水のFSC 檜材のピアノをデザインする。制作は東洋ピアノ。

2005年(70歳)JICA タイプロジェクト参加パラウッド(ゴムの木)の有効利用プロジェクトで、スラタニ県で地域の木工業界、学校他を2年間現地指導。

2007年(72歳)相模湖FS



NPO 職人の森設立
書/武田双雲

C認証林の間伐材利用による「森づくり・モノづくり」コンベの審査委員長及び森林再生事業促進実行委員会で、地元木工製品開発のための指導を行う。

2008年(73歳)杉材有効利用のためのシステム収納事業化推進プロジェクトのため元麻布に職人の森ブランドのモデルルーム、デザインセンター設立。

2009年(74歳)(株)マルダの長期優良住宅モデルハウス、システム収納設置。

2010年(75歳)木更津にシステム収納モデルルーム完成。水源税による杉のSL車がジャパンカップ環境省より受賞。

2011年(76歳)第4回コンペでUIA 2011 東京大会フェアシティ展に参加。出展企画実施プロデュースを手掛ける。



職人の森
デザインセンターモデル

UIA2011 東京シェアシティ展実行委員会

委員長

古谷誠章（早稲田大学教授）

副委員長

運営部会担当責任者

鯨坂 徹（株三菱地所設計）

財務担当責任者

萩田隆義（株ソラックデザイン）

委員（順不同）

青木千栄子（日本コカ・コーラ株）

車戸城二（株竹中工務店）

岩下博樹（株岡村製作所）

酒井信二（株乃村工藝社）

東 亨（株乃村工藝社）

高井英樹（東京都知事政務担当特別秘書）

大橋方利（内閣府大臣官房政策評価広報課）

次原悦子（株サニーサイドアップ）

ワーキンググループ（順不同）

萩田隆義（株ソラックデザイン）

鯨坂 徹（株三菱地所設計）

鬼澤仁志（株三菱地所設計）

藤 貴彰（株三菱地所設計）

東 亨（株乃村工藝社）

力丸ゆかり

栗生はるか

松井美奈歩（早稲田大学古谷研究室）

後藤かほ里（早稲田大学古谷研究室）

田所 真（早稲田大学古谷研究室）

中村 碧（早稲田大学古谷研究室）

大石将平（早稲田大学古谷研究室）

長 侑希（早稲田大学古谷研究室）

高栄智史（早稲田大学古谷研究室）

教内文恵（早稲田大学古谷研究室）

森林再生事業促進実行委員会

実行委員長 山本俊雄（相模湖商工会 副会長）

事務局長 淵上美紀子（株エコナクラブ）

事務局 大神田英次（相模湖商工会 主席経営指導員）

委員 井上重夫（相模湖商工会 事務局長）

委員 石村黄仁（NPO法人「緑のダム北相模」代表理事）

委員 丸茂 喬（NPO法人「緑のダム北相模」理事）

委員 吉永晃也（南吉永建具店）

委員 佐藤隆子

UIA 2011 東京シェアシティ展ワーキンググループ（順不同）

統括 小田原 健（株ベル研究所）

事務局 淵上美紀子（株エコナクラブ）

財務 大神田英次（相模湖商工会 主席経営指導員）

広報 丸茂 喬（株マルモ出版）

会場演出 三好和彦（株ZNEM）

岡田恵子（マミフラワーデザインスクール）

展示作品制作

吉永晃也（南吉永建具店）／辻本崇樹（株ヒノキ工藝）

大学 悟（南木田製作所）

協力スタッフ

越川久子（職人の森）

協賛会社（順不同）

相模湖商工会

NPO法人「緑のダム北相模」

株ルビシア

株マルダイ

株伊佐ホームズ

株ベル研究所

株マルモ出版

NPO法人JCLF

株エコナクラブ

株日本生命

株チェリア

株岡村製作所

株マックス

神奈川県建具協

株乃村工藝社

協力会社（順不同）

株シネクティクス

マミフラワーデザインスクール

南間伐素材開発研究所

南京阪プリント工業

南藤商木材

藤工房

協フオレスト西川

神保カンパニー